

❖三ツ又沼ビオトープのあれこれ



園路や木道に落ち葉がたくさん積もってきました。歩いていると、さまざまな野鳥の音が聞こえてきます。

園路のそばにはカラスウリの赤い実が目立ちます。



ふと見ると、小枝にイナゴがささっていました。これはモズという野鳥のしわざですね。



❖荒川ハンノキプロジェクト



(太平中学校)

プロジェクトに参加している子どもたちが、環境サポーター*の協力のもと、種子から2年間育てたハンノキの苗を、3団体分あわせて56本植えました。数年後には、ここにもきれいなチョウ「ミドリシジミ」が卵をたくさん産みにくることでしょう。

埼玉県の蝶「ミドリシジミ」のために、三ツ又沼ビオトープにハンノキの林を取りもどすプロジェクト。現在、川島町立出丸小学校、上尾市立太平中学校、川島こどもエコクラブの子どもたちが、種子から苗を育てて荒川に植えもどす取り組みを行っています。



(出丸小学校)



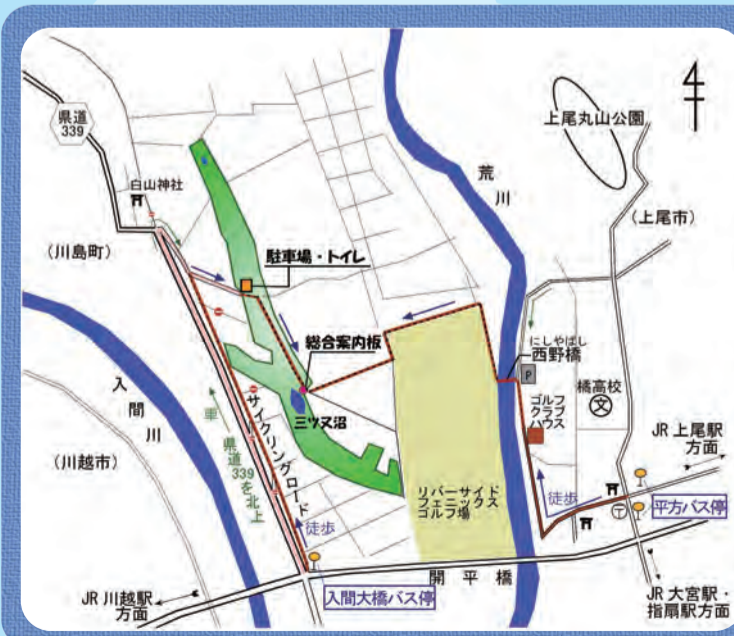
(出丸小学校)

三ツ又沼ビオトープのあちこちで増えすぎた「クワ」の木を切りました。また、ハンノキの枝や幹にからみついているツル植物「カナムグラ」をとりのぞきました。



(川島こどもエコクラブ)

植えたあとは、大きくなったハンノキから種子をとり、学校に持ち帰ります。また2年間、大切に育てます。



三ツ又沼ビオトープとは？

上尾市と川越市、川島町のさかい目にある、荒川の豊かな自然が守られている場所です。ここでは、荒川の自然が大好きな人たちと国土交通省と一緒に、自然をより良くする作業や「荒川の自然って大切だね！」と、人々に伝える活動をしています。いつでも、だれでも自然に親しむことができます。

*環境サポーター：あらかわ市民環境サポーターの略。荒川の自然が大好きで、特に三ツ又沼ビオトープの自然をより良くするために作業をしたり、自然学習のお手伝いをする市民のみなさんです。登録は荒川上流河川事務所にて受け付けています。